

チエーリツプ 四季だより



「楊貴妃」

1998. 秋号
Vol.8

星野富弘氏 来館記念対談



出席者(写真右から)

安念 鉄夫 砺波市長

星野 富弘氏(作家)

昌子夫人

―チューリップ四季彩館内

レストハウスかくれ庵にて

去る八月七日(金)から十六日(日)までチューリップ四季彩館ホールにおいて特別企画展「星野富弘氏の詩画展」を開催しました。その開会式には星野富弘氏のご来席を賜り、式典後、お話を伺うことができました。

安念市長 「市の花である

チューリップ球根の生産量

と“住みよさ”で全国第一

位となった砺波市、そして、このチューリップ四季彩館の印象をお聞かせ下さい。」

富弘氏 「初めて砺波市を訪れ

ましたが、空気がきれいで緑がたくさん

あって住むにはとても良い所だと思

います。また、昔からの日本建築の

良さをそのまま残した家が多いと感

じました。

チューリップ四季彩館では、チュ

ーリップが夏に咲き、とても良い香

りがあることを実際にこの目と鼻で

確かめることが出来て、いい所に来

たなあと思いました。自然と花が多

い町に住めてうらやましいなあと思

っています。」

安念市長 「一九七五年にチューリ

ップのペン画をお描きになった時の

思い出をお聞かせ下さい。」

富弘氏 「詩にも書きましたが、小

学校に上がる前、初めてクレヨンで

買ってもらった時、嬉しくて姉の真

似をして、縁の割れたコーヒーカー

ップに茎と葉っぱをつけたようなチュ



初めてクレヨンで
描いてもらった時
壁や戸板に
やたらとチューリップの
絵をかいた
今私は
口には言えませんが
やはりチューリップを
かいている

「チューリップ」
『かぎりなくやさしい花々』
星野富弘著より

ーリップをいっぱい描きました。そして、紙では描き足りず、戸板や壁などそこらじゅうにそればかり描いていたことを覚えていています。

そこで、口に筆をくわえ絵を描き

始めた時、子供の頃を思い出し、そ

の時のチューリップでいいからと思

い描いてみましたが、やはりもう大

人であったので、本物のチューリッ

プを見ながらサインペンで描きまし

た。その時、『初めてクレヨンを買

ってもらった時、壁や戸板にやたら

とチューリップの絵をかいた。今、

私は口に筆をくわえ、やはりチュ

ーリップをかいている。』という詩を

その絵に書き添えたことを覚えてい

ます。」

安念市長

「ところで、

単刀直入に

お聞きしま

すが、小学

生の頃図画

の成績は良



い方でしたか。」

富弘氏 「子供の頃の私は非常に落

ち着きがなく、とにかく体を動かす

のが大好きで、なかなか席にじつと

していられなかったのですね。もち

ろん図画の時間も落ち着いて一枚の

絵を仕上げるということとはめったに

なく、写生に行けば、石を投げたり、

木に登ったりして、絵を完成させた

ことはほとんどありませんでした。

中学生になって、大学を卒業した

ばかりの先生がよく描いていた油絵

を見て、初めて自分達の住んでいる

周りの景色がこんなにきれいなんだ

と知らされました。この頃から絵に

とても興味を持ち始めたのですが、

絵を趣味として描くようなことはあ

りませんでした。」

安念市長 「絵の題材は、どこから

見つけられるのですか。」

富弘氏 「普段家の周りを電動車椅

子で一人で散歩していますが、その

時、道端や人の家の花壇に咲いてい

る花を見て、“あっきれいだなあ、

この絵を描きたいなあ”と思つたら家に帰ってから妻に、取ってきてもらいます。『あの道を右に曲がって、電信柱三本目のところのすぐ根元に茎の周りにちよつと毛の生えたこういう花があるから取ってきてくれ。』という、妻は『はい、わかったわよ。』と言って出て行きますが、たいてい違う花を取ってきます。

普段毎日のように見ていたつもりでも、ある日、目立たないけれども綺麗に咲いている花に気付いた時、とても感動して絵を描きたいなと思います。特別な花ではなく、普段だれも見ている花の中に美しさや力強さを感じた時に描こうという気持ち湧いてくるのです。

それまで動いていたものが動かなくなり、普通の状態からはなされた時に初めて普通のことの大切さを知りました。その経験から、花も、何でも無いものの中に素晴らしさを見つけられる、感動出来るようになったのだと思います。」

安念市長 「絵には素晴らしい詩が添えてありますが、文章はいつもお考へになるのですか。」

富弘氏 「詩は、絵の先に出来る時もある、後に出来る時もあります。ただ、何か絵を描きたいなあと思う時はただ綺麗だから描くのではなく、驚きや感動といった胸に込み上げるものがなければ集中出来ません。一本の線でも弓的を射るような気持ち

ちで引きますから、自分にエネルギーをくれるようなものがなければ線は書けないのです。

もつと長い言葉が浮かぶのですが、どんな余分なものを取っていき、花と一緒に書いても大丈夫な長さになった時に書きます。」

安念市長 「身体が不自由になられて絵を描かれるまで、大変なご苦労をなされたと思いますが、同じようにハンディを持つ方々に激励の言葉をお願いします。」

富弘氏 「身体が不自由になったということとは不幸になったということではありません。どうしても両者が結び付きやすい性質を持っています。が、よく考えてみるとこれは別のものであり、切り放さなければならぬことだと思っています。しかし、一人では困難なので、周りの人の手助けも必要だと思っています。周りの人というのは、その町全体であり、道路の作り方や家の作り方なども含めた周りの人達の気持ちです。これは決して不自由になった人だけの問題ではなく、だれもがみな年を取っていくと歩くのが大変になり、目は悪くなり、耳は遠くなります。しかし、自分が健康な時に体が不自由な人や病気の人を見て、ただかわいそうだ、気の毒だという目で見られられない場合には、自分がいつかそうになった時自分のことをそのように思うのではないかと思います。」

そのような不自由な中にも、喜びや出来ることがたくさんあるということ、そのことに健康な時から気が付いていたら、もし自分がそうだった場合にも決して自分がかわいそう人間にならないのではないかと思います。」

安念市長 「利用の面から行政として、点字ブロックの設置、バリアフリー化など改めて考えさせられました。」

先生には、長い間誠にありがとうございました。」

略歴

ほしの とみひろ

- 一九四六年群馬県に生まれる。
- 一九七〇年中学体育教師としてクラブ活動の指導中に、けい髄損傷。
- 一九七二年口に筆をくわえて文字や絵を書き始める。
- 一九七四年キリスト教の洗礼を受ける。
- 一九七九年前橋市で初の展覧会。不治のまま退院。
- 一九八一年結婚
- 一九九一年「富弘美術館」開館。作品を常設。一九九八年春には来館者二七〇万人を突破。

著書

- 『愛、深き淵より』『風の旅』『かぎりなくやさしい花々』『鈴の鳴る道』『三浦綾子との対談・銀色のあしあと』『速さのちがう時計』ほか



「どくだみ」

チューリップの ふるさと

チューリップの野生種は、オランダの品種リストによると現在約百五十種あると言われています。その原生地はスペイン、北アフリカからイタリヤ、トルコ、アフガニスタン、イラン、さらに中国西部の天山山脈、西シベリアまで北緯四十度線に沿って広い範囲に広がっています。

その中でも、小アジアから中央アジアにかけての地域が野生種の数が多いことから、この付近がチューリップのふるさとであろうと推定されています。原生地の多くは地中海気候の地帯に入り、夏は比較的冷涼で雨が少なく乾燥し、秋から冬に雨が多く降ります。品種改良された現在のチューリップが、夏涼しく、冬は湿潤な気候を好むのは、この野生種の性質が色濃く残っているためです。

チューリップの 原生地



● 主な原生地

資料提供 筒井 澄



コルパコウスキアナ／
T.kolpakowskiana 自生地①



カウフマニアナ／
T.kaufmanniana 自生地①



オストロスキアナ/*T.ostrowskiana* 自生地①

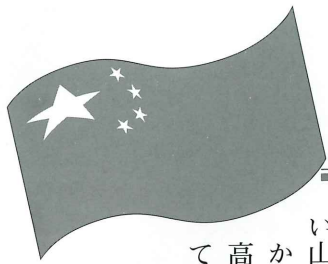


■主な種とその自生地

地 域	種 名
①天山山脈・パミール高原 カシミール・バキスタン	クルシアナ・フォステリアナ ブラエスタンス・タルダ・トルケスタニカ
②アフガニスタン・イラン 東トルクメニスタン	アイクレリー・クリサンタ・クルシアナ シルベストリス・ブラエコックス
③アラル海・カスピ海・西トルクメニスタン	シュレンキ・ビフローラ
④コーカサス地方	アイクレリー・クリサンタ・シュレンキ
⑤トルコ・ギリシャ	オーファニデア・ハゲリ・ブラエコックス
⑥イラク・シリア	クルシアナ・ブラエコックス・ブルケラ
⑦フランス	マージョレッティー
⑧クレタ島	サキサテルス



グレーギー／*T. greigii* 自生地①③



中国のチューリップ事情

前の頁でも紹介しましたが、中国内陸部はチューリップの原生地の中で最も重要な地域の一つとなっています。ところで、現在、中国のチューリップ事情はどのようなになっているのでしょうか。

中国に自生するチューリップ

中国国際文化交流センター(一九九五年)の調査資料より、

百五十種あるチューリップ属の中で中国には十四種類あり、輸入栽培の一種類を除き、東北と長江下流の各省に二種類、残る十一種類はすべて新疆産です。

大部分は平原と低い山岳地帯に、わずかに高山地帯と亜高山地帯に分布しています。

中国に自生する十四種類

第一 老雅弁 (*Tulipa edulis*) *

遼寧、山東、江蘇、浙江、安徽、江西、湖北、湖南、陝西の各省に産する。山中の坂地や草地道端に多く自生している。朝鮮や日本にも分布。開花は三月から四月、結実は四月から五月。鱗茎は薬用になり、解熱、解毒、肩コリ、ハレ引き等に効果があり、澱粉も取れる。

第二 ニ葉チューリップ (*Tulipa erythronioides*)

浙江、安徽に分布。開花は四月。

第三 チューリップ (*Tulipa gesneriana*)

欧州原産。輸入栽培種。広範囲に栽培されており、歴史も長く品種も多い。開花は四月から五月。

第四 准葛爾チューリップ (*Tulipa schrenkii*)

新疆西北部(ユーミン、トリー、イリー及び温泉一帯)平原荒地に産する。ロシアにも分布。開花は五月。

第五 遅花チューリップ (*Tulipa kolpakowskiana*)

文献によると新疆に産し、伊犁チューリップと類似している。比較的開花は遅く、開花期が短い(標本なし)。

第六 伊犁チューリップ (*Tulipa iliensis*)

新疆天山北坂に産し、東はウルムチ、マナス、サワン、デンホから西はイリー地区全域に広く分布。海

抜四百メートルから一千メートルの山前平原と低山窪地に大面積で野生している。ロシア・中央アジア地区まで分布。開花は三月から五月、結実は五月。

現地ではこれを老雅弁と称し、甘味のある球根は子供たちに食されている。

第七 天山チューリップ

新疆西部(チャブザール地区)に産する。海拔一千メートルから一千八百メートルの草原地帯、ロシア・中央アジア地域まで広がりに分布している。

第八 アルタイ・チューリップ

新疆西北部(ターチャン、ユーミン、ウーミン、トリー地区)に産する。海拔一千三百メートルから二千六百メートルの南面山地と灌木地帯に多い。ロシア、シベリアと中央アジア地区にまで広がる。開花は五月、結実は六月から七月。

第九 新疆チューリップ (*Tulipa sinkiangensis*)

新疆天山北麓(ウルムチ、マナーズ、グエイトン)に産する。海拔一千メートルから三千メートルの平原砂漠。四月から五月に開花。

第十 垂蕾チューリップ (*Tulipa patens*)

新疆天山西北部(ターチャン、温泉、ホーチャン)に産する。海拔一千四百メートルから二千メートルの南面山地と灌木地帯。ロシア、ヨーロッパ、西シベリア、中央アジアまで広く分

布。開花は四月から五月、結実は五月。

第十一 柔毛チューリップ (*Tulipa buhsana*)

新疆北部(フーオン)西部(イーニン)に産する。平原に産し、*Artemisia* (キク科)の多い荒漠地、低山草地に多い。イラン、ロシア、中央アジア地区にも分布。開花は四月から五月。結実は四月から六月。

第十二 毛茛チューリップ (*Tulipa dasystemon*)

新疆西部(チャブザール、ウーザ)に産する。海拔一千メートルから三千二百メートルの山地の南面地帯。ロシア、中央アジアにも分布。開花は四月。

第十三 異葉チューリップ (*Tulipa heterophylla*)

新疆天山北坂(バリゴン、ジョース、チャブザール)と南坂(ホージン)に産。海拔二千メートルから三千メートルの小砂利地区と南面坂地。ロシア、中央アジアに及ぶ。開花は六月、結実は七月。

第十四 異弁チューリップ (*Tulipa heterotepala*)

新疆北部(アルタイ)、東北部(ベータシヤン)と内蒙古(シーモン)に産する。海拔一千二百メートルから二千四百メートルの灌木地帯。シベリア、中央アジアにも分布。

*日本では近年アマナ属アマナとして分類。

中国で最も花き生産が盛んな雲南省は、中国の全花き栽培面積の六割以上を占めます。主として、カーネーション、バラ、カスミソウを栽培しています。

雲南省最大の都市、昆明^{クミン}は、標高一千八百九十三メートルの亜熱帯高地に位置し、平均気温十四・六度の温暖な気候のため、「四季春の如し」と言われています。昆明地区の主な産地として斗南村、官都、高明県などがあげられます。

一方、標高三千二百五十メートル、雲南省最北部に位置する中甸県中甸城南角では、CNB（オランダ球根協会）の技術指導のもと、四十品種

中国雲南省の花き生産

の球根植物を十六・五ヘクタールにわたり栽培している企業があり、この企業では、一九九七年にはチューリップ球根で一万球、ユリで十万球の生産実績をあげています。さらに三万ヘクタールの球根生産適地があるとの報告もあります。

また、この地域では一九九五年より毎年四月にチューリップ祭りが開催されており、アジアのチューリップ基地を目指しています。一九九九年には中甸空港がオープン予定で、航空輸送も検討されており、今後一層の発展が期待される地域です。

（国際航空旅行サービス株式会社の調査資料より）

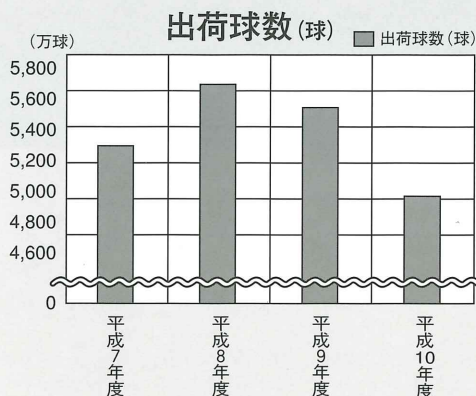
県内
News

富山県におけるチューリップの年次別出荷状況

富山県花卉

球根農業協同組合より平成十年度のチューリップ球根の出荷状況が発表されました。今年は四月の異常高温や日照不足など過去に例のない気象状況のため、出荷球数も五千七万四千七百五十球にとどまりました。

年次	平成7年度	平成8年度
出荷球数(球)	53,133,050	56,273,680
面積(a)	22,628	23,675
単収(球)	23,481	23,769
年次	平成9年度	平成10年度
出荷球数(球)	55,126,000	50,174,750
面積(a)	23,372	23,431
単収(球)	23,586	21,414



伝言板

「なえもえ」を
どう存じますか？

今年八月、CD-ROM雑誌『なえもえVOL.1 芽出し号』が有限会社ムルハウスから発売されました。これは植物・園芸雑誌のCD-ROM版であり、ガーデンデザインから植物事典まで豊富な内容と美しい画像を楽しむことが出来ます。通信販売のみの販売となりますが、興味のある方はぜひ一度ご覧下さい。

住所／〒三三二-〇〇一七

埼玉県川口市栄町二一六-四二〇一

ムルハウス「なえもえ」編集部

電話／〇四八-二五七-一六八一

FAX／〇四八-二五七-三六九六

■表紙のチューリップ

新品種「楊貴妃」(ユリ咲き)

球根生産者である富山県下新川郡入善町新屋の藤田隆正氏が育成。「チャイナピンク」の枝変わりで、花色は淡紫桃色。平成十年度富山県チューリップ優良品種認定審査会にて優良品種と認定される。今年三月下旬に募張メッセで開催された日本フラワー&ガーデンショーの消費者アンケート調査で第一位に輝く。

写真提供／富山県花卉球根農業協同組合

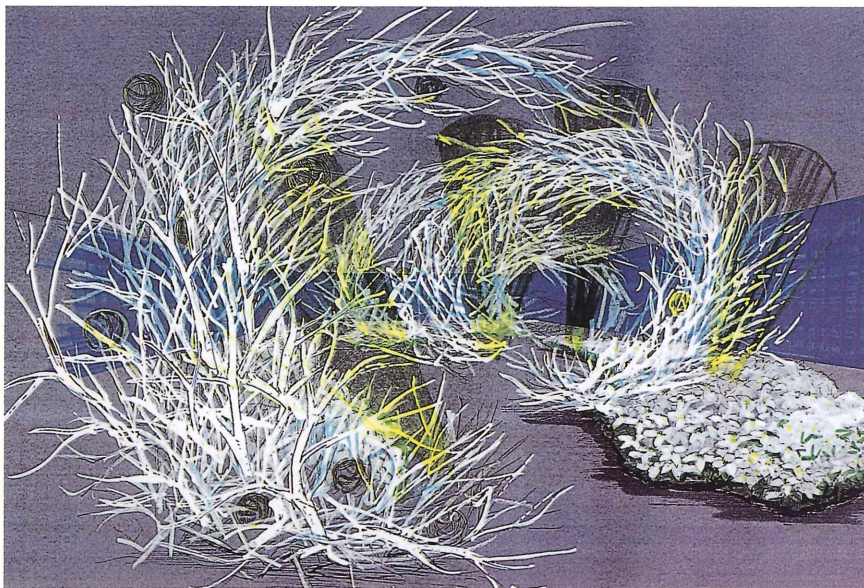
チューリップ四季彩館
からのお知らせ

秋季特別企画展

「光が織りなす冬のシンフォニー」

期 間／平成10年11月7日(土)から23日(祝)まで

場 所／チューリップ四季彩館ホール



チューリップ四季彩館
TONAMI TULIP
GALLERY

発行日 平成十年十月一日

(財)砺波市花と緑の財団

〒九三九一-一三八一

富山県砺波市中村一〇〇一

☎ 〇七六三一三三三七七一六

FAX 〇七六三一三三三〇〇九〇